

発行所：社団法人 全国鉄道広告振興協会

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1丁目5番5号 JR恵比寿ビル10階

TEL：03-5791-1808 FAX：03-3443-1616 メールアドレス：information@jarap.jp

URL：<http://www.jarap.jp/>

巻頭レポート

交通広告、駅を核とした デジタルサイネージの 展開と可能性

大日本印刷(株)
デジタルサイネージ推進本部

「i-ステーション仙台」の概要

新しい交通広告に向けた
実証実験の取り組み

2009年7月17日、JR東日本の仙台駅2階コンコースに130インチ相当の大幅面を中心とする情報スペース「i-ステーション仙台」が開設され、盛大なオープニングセレモニーが行われました。大日本印刷(DNP)と東日本旅客鉄道、ジェイアール東日本企画、交通新聞社が協働して行なう交通広告の可能性に向けた1年間の実証実験が始まった瞬間でした。

「i-ステーション仙台」は、42インチの大型ディスプレイを12台連動させてデジタルコンテンツを配信する「ツールビジョン」を中心として、その両側にタッチ式の46インチディスプレイ付き情報ボードを配置、さらに持ち帰り用のパンフレットラックを備えた新しい情報発信スペースです。巨大な画面のツールビジョンが駅利用者の注目を集め、タッチ式ディスプレイの対話式情報ボードで詳しい情報を引き

出し、パンフレットを取って情報を持ち帰ってもらうという役割に分かれています。

「ツールビジョン」では、天気予報やJR東日本の商品情報、人気車両の映像、アート作品などを表示します。またタッ

『i-ステーション仙台』4社連携のスキーム



『i-ステーション仙台』機器構成と役割



顔認識カメラ、タッチログ、パンフレット重量センサ等による効果測定を実施中

チ式の情報端末では、仙台駅の時刻表検索や駅構内図、駅周辺地図などを簡単に閲覧できる仕組みとなっています。情報端末に、おサイフケータイ®をかざすと、仙台駅発の時刻表や駅周辺地図などの携帯サイトへアクセスすることもできます。関連するパンフレットをパンフレットラ

ックに用意しておくことで、映像を見て
関心を持った生活者が、その場で詳細情
報を手でできるような工夫されています。

「iステーション仙台」には効果測定
システムが設置され、得られた情報を今
後の映像コンテンツ改善の基礎情報やマ
ーケティングデータとして活用していき
ます。

「iステーション仙台」での 情報発信の目的」

仙台駅での情報発信が目指すものと
して、仙台にきた人達への仙台情報の提供
と仙台企業広告の発信、仙台から出発す
る人達へは旅情報の発信と東京等の企
業広告の発信を通じて、仙台の市民と企
業に貢献するとともに、東日本旅客鉄道
(ジェイアール東日本企画)のビジネスに
寄与することを目的としています。

「『トールビジョン』の概要」

『トールビジョン』は、42インチの大型
ディスプレイを縦に2台つなげたものを
横に6列配置し、12面の画面を使用して
多様なデジタル映像を表示します。12面
全体を大きなディスプレイとして、1つの
映像を表示するほか、縦に6分割、上下
に2分割などとして、異なる映像を連動さ
せて表示することが可能です。また、同
サイズの大形ディスプレイなどと比較し
て、低コストでの設置が可能です。

DNPは、『トールビジョン』と、タッ
チで情報を閲覧できる情報端末、パンフ



賑わう駅構内での新しい待ち合わせスポットに

レットラック、印刷ポスター用のサインボ
ード(看板)など、さまざまな広告媒体を
組み合わせ、効果の高い情報提供手段と
して、駅、空港、ショッピングモールなどの
大型施設に向けて販売していきます。さ
らに、広告の効果を分析するための、映
像を閲覧した生活者の性別・年齢層を自
動で識別する顔認識システムや、パンフ
レットの減り具合を自動で感知するパン
フレットラック用の重量センサーなどを
利用した効果測定システムも提供し、広
告出稿企業への効率的なデジタルサイネ
ージの運用を支援していきます。

「『仙台駅情報ボード』の概要」

『仙台駅情報ボード』は、46インチのタ
ッチパネル式大形液晶ディスプレイと交

通新聞社が開発したシステムにより、駅
発時刻表や駅構内図といった駅に関する
情報を、すばやく検索、閲覧できる端末
です。FLASHを用いたユーザーインタ
ーフェイスにより、直感的な操作が可能で
す。また、端末におサイフケータイ[®]をか
ざすと、駅発時刻表や駅周辺地図を掲載
した携帯サイトへアクセスすることがで
きます。

主なコンテンツは、

- 時刻表：発車時刻、のりば、列車名がひと目でわかる「駅発時刻表」と、目的地への到着時刻がわかる縦型の「列車時刻表」の組み合わせで、乗りたい列車を簡単に探すことができます。

- 駅構内図：トイレやエレベーターなどの構内設備を点滅表示させ、わかりやすく案内します。

- 路線図・運賃表：仙台駅からの運賃や、駅名のよみがなを調べることができます。

- 駅周辺地図：ワンタッチでの拡大、縮小が可能のほか、銀行やホテルなどの場所を施設名から調べることができます。

「iステーション仙台 現在の状況」

仙台駅コンコースでの実証実験では、
顔認識技術を活用した効果測定や、重量
センサーを使ったパンフレットラックか
らのログデータを収集分析しており、通

行者が画面に目を向けたときの注視秒
数の集計や、コンテンツ画面の動き方と
通行者の注目度合いの関係性など、様々
な切り口での検討を行なっています。そ
こから読み取れる平日休日の注視者属
性の傾向や、コンテンツごとの注視者年
代比率など、今後のデジタルサイネージ
におけるコンテンツ制作や運用のための
ノウハウ蓄積を進めています。その取り
組みがNHKのニュース番組で取り上げ
られ、1月26日のNHKおはよう日本で
放映されました。デジタルサイネージ
の運用における効果測定の必要性は今後ま
すます高まってくると思われ、この実証実
験におけるログ分析結果等を含め、DNP
では独自の効果指標の作成を目指して
います。



離れた所からの視認性も高い

広場

「マッサージ・パワー」

副会長 浅沼 唯明 (株式会社ジェイアール西日本コミュニケーションズ)



中国の都会

私はマッサージがこよなく好きです。但し、中国を訪問したときに限ります。その理由は一時間が千円前後であり、気軽に行けるからです。時には足裏一時間、全身一時間、計二時間揉んでもらうこともあります。

マッサージ師はほとんど農村出身で、短くて半年、長ければ3年位学校に通い技術を習得するそうです。年齢は大体二十歳代の人が多いようですが、技術のレベルは相当高いです。

ある時、瀋陽でのことですが、大学時代の友人(中国駐在八年)がマッサージの達人を紹介するということで早速たのみました。その達人は

ディア展開など、さらなる可能性を追求して行きます。

【今後のDNPのデジタルサイネージの取り組みについて】

今後、DNPでは交通広告・駅を核に、周辺店舗、流通・小売などと公共施設等

を線でつなぎ、面にして行くことを目指しています。

印刷会社ならではの視点で、色調・コンテンツにこだわった独自のデジタルサイネージを考えています。

広告・宣伝・販促のデジタル化の時代にインターネット、携帯電話、アナログ系の

大学の教授で経路に詳しく、業界では有名人だといふので、どんな人だろうかと期待して待っていました。なんと、やって来たのは汚れたよれよれの白衣を着た六十三歳のお婆さんでした。

いよいよ開始です。お婆さんは持参した袋の中から黒いヘラの様なものを取り出し、私の脚を力任せにこすり始めたのです。思わず「イタッ」と唸り声がでました。黒いヘラの正体は「水牛の角」だったのです。私は、初めての経験で、この角に如何なる効用があるのか分かりませんでした。が、この物体がきわめて硬いということはお婆さんから聞きました。お婆さん「老教授はわたしの脚からだんだん上の腹、胸も力を入れて擦り続けました。」

お婆さんの額から汗が滲み、ポタッと落ちました。私の体は赤くなり一部血が滲み始めていました。

やっと一時間の「苦行」が終わり、ホッとしてお礼を言い謝礼をお渡ししようと思いました。

印刷物・プリント・サイン等と組み合わせたいハイブリッド型でのクロスメディア、メディアミックスを図り、ソフトからハード、配信・運営までトータルでデジタルサイネージ関連を揃えて、生活者、企業にとつてより利便性の高いデジタルサイネージを提供していきます。

(賛助会員)

「五十元(約七百円)いただきます」。「？」。一時間、汗びっしょりになつて仕事をされて、(しかも大学の教授です)それでは申し訳ないです。私は要求額の二倍をわたしました。

そして日本から持参していたクッキーを一缶添えて・・。



中国の農村

私は何故か中国に行くといふ元気になるが、その原因はマッサージ自体の効用もさることながら、額に汗を流してコトン働く彼女たちのパワーに出会うからではないかと思うようになりました。

今回は常任理事 中山久義氏の予定です、お楽しみに。

平成21年度第3回理事会を開催

1月25日(月)において39名の理事が出席
(含む代理人出席、委任状出席)し開催した。

岩崎会長 挨拶

大変お忙しいところをお集まりいただきありがとうございます。本日はかなり重要な理事会になりますので、多くの方にご出席いただきつつたのですが、まずまずの出席でありありがとうございます。



理事会で挨拶する岩崎会長

上半期の決算がようやくまとまり、併せて年間の見通しについても今日、説明をさせていただきます。景気の方も、株が1万円を超え、アジア向けの輸出が拡大しているなど、薄日が射しているという見方もされていますが、現在の経済状況が極めて厳しいことには変わりはないという考え方が主流を占めています。

その中で我々が最も気になっていることは、会員社の売上が非常に落ち込んでいる状況です。会員あつての協会ですから、現状にどう対処するか協会にとって大問題です。

そういう意味で今日に至るまで、副会長をはじめ会員社の方々に色々事情を聞いてまいりましたが、それらに立って考えてみますに、協会の活動は会費を収入として予算をつくっているわけでありますが、その予算を削ってでも対処する必要がありますという判断に至りました。

結論的に申し上げますと、毎年、皆さんに前年の売上高をご申告いただき、それに基づいて新年度の会費を決定する訳ですが、来年度に限りその会費の20%を割引くという措置をとりたいと考えております。協会の予算規模としては1900万

円程度の縮減ということになります。

従って、この穴を開けたままという訳にはいきませんから全体的に協会活動に致命的な支障を与えない限度で色々な節減策を講じ、乗り切っていきたいと考えております。協会にとって非常事態であり、当然、活動態様も変わっていくこととなりますが、状況をご理解いただき、この問題については是非とも皆さんのご了承をいただきたいと考えております。今の状況から見れば、会費の20%減位ではそう大きな支援にはならないかと思いますが、こうしたことをきっかけに、今年中には皆さま方の努力によって、業績回復の機運をつかんでいただきたいと考えております。後ほど議案を詳しく説明いたしますので、ご了解のほどをお願いいたします。

2番目の大きな問題は法人改革問題です。ご承知の様に、昨年9月28日に公益法人化の認定申請をしてから、これまでに3回、認定等委員会より申請内容について事務的な照会がありました。専務理事をはじめ事務局に対応してもらっていますが、今のところは、用語や文章の一部をもう少し分かりやすく表現して欲しいといった注文です。これについては、まだこれから何回か問い合わせがあるうかと思われます。

皆さんご存知のとおり、国所管の社団法人、つまり総理大臣が認定または認可する社団法人の数は約3600、財団法人が3000あります。改革等事務局から現在の状況について発表されておりま

すが、3600の社団法人の内、公益法人化の申請をしたのが51件、内審査中は35件あり、我々の申請案はこの35件の中の1件となっています。認定の答申が出たものは7件、申請はしたものの取り下げたものが9件、という状況になっております。従って、まだ国所管の社団法人で申請も何も出していないというのが3550社あります。今までの審査状況を見ると、審査を始めてから結論が出るまでに大体半年ということがあります。そろそろ4か月になりますから、年度末ごろには何らかの具体的な結果が出るのではないかと考えております。来年は公益社団法人として運営をすることになればと考えております。

当然のことながら、公益事業比率50%というのは絶対の要件でありますので、ただ今申し上げた縮小する予算の中で公益事業比率を保持しなくてはなりません。皆さんの協力を得、何とか目標に向かって進んでまいりたいと思っております。

本日はその他重要な案件もありますので、審議のほどよろしくお願いいたします。

1 平成21年度上半期収支報告について

河田専務理事から説明があり承認された。

2 平成22年度の緊急施策について

河田専務理事から以下のとおり説明があった。

2010年度正会員会費については、当面の深刻な経済情勢に基づき緊急対策として、一律20%の減免措置を講じる。

—そのための資金捻出策—

会費減免処置によるJARAPの減収対策として、各支出について厳しく内容を精査し、当面1年を限り下記の事項を実施する。

(1) 固定費の削減

① 会長および専務の報酬をカット。

② 事務所賃料の減免要請。現賃料を半額程度に減免していただくよう要請する。

(2) 刊行物の発行停止等

① JARAP NEWS

これまで毎月発行していたものを隔月発行とし、外部に委託していた編集関連費用を全て内製化する。

② 各種刊行物

これまで冊子として発行していた「料金表」をホームページ掲載のみとする他、各種刊行物の発行を原則停止する。

(3) 会議関係費用の削減

① 総会

開催場所の変更、懇親会のとりやめ等費用圧縮を図る。

② 理事会

理事会等の開催場所の変更による節減。

③ 支部費用

一律20%削減に加え、配賦費用の見直しを図る。

その他の各種費用についても抜本的な見直しを行なう。

以上の、平成22年度緊急施策については原案通り承認された。

3 新規会員社の入会承認について

河田専務理事より以下の二社から入会希望があり提出された会社概要、決算報告書等について検討したところ、問題はないため、入会を承認することとしたと説明があり承認された。

正会員(1社)

首都圏支部

(株)ルミネアソシエーツ

東京都新宿区

代表取締役社長 小澤 裕

(2009年9月1日付)

賛助会員(1社)

大日本印刷(株)

東京都品川区

常務取締役 清水 孝夫

(2009年12月1日付)

(敬称略)

4 今後の予定について

以下の日程で今後の理事会及び定期総会の開催を予定する。

第4回理事会

日時：平成22年3月25日(木) 14時00分

会場：ホテルメトロポリタンエドモント

(飯田橋)

平成22年度第1回理事会

日時：平成22年6月上旬(予定)

会場：未定

平成22年度定期総会

日時：平成22年6月上旬(予定)

会場：未定

(詳細が決まり次第、改めて連絡いたします。)

【報告事項】

「公益社団法人移行認定申請進捗状況」について

河田専務理事より、以下のとおり説明があった。

委員会事務局から、申請案の表現が分かり難い、業界事情に詳しくない委員が審査していることもあり、平易な表現にして貰いたいとの要望や、安全、「審査」について最終的に誰が責任を持つのかなどの質問があった。ほかに一寸した数字上の問題を指摘されたが、これは単なるケアレスミスである。申請後4か月を経過しているが、最終的には年度末にあわせて結論が出ればと考えている。

以上をもって平成21年度第3回理事会は15時12分に閉会した。



調査研究委員会

マーケティング講座 第11回

関西地区

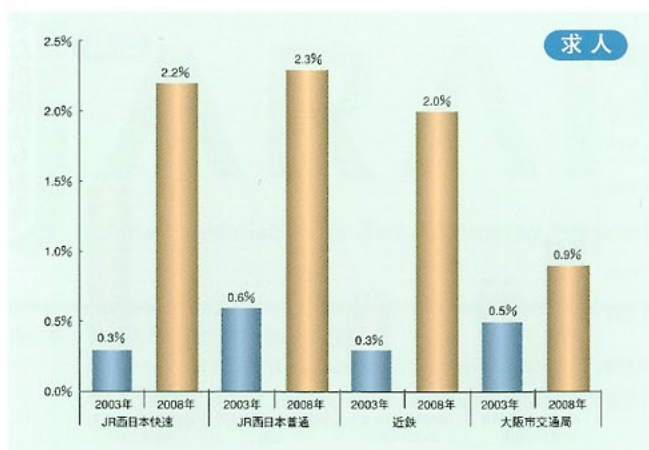
中吊出稿統計にみる
業種の変化

広告出稿統計とはマス4媒体、交通、インターネット等のメディアへの、業種別広告主の出稿量や内容を集計したものだ。これらを分析することで、広告主の実態を掌握でき、また過去のデータから今後の出稿予測も可能となる。出稿統計には長期と短期の2つの集計方法があり、大きな時代の変化を捉えるために1年間を通して集計される「年間統計」と最新トレンドやニーズを捉えるために1ヵ月ごとに集計される「月間統計」がある。

出稿統計は、競合会社の動向を知ろうえで有効な指標の一つであることは言うまでもないが、マーケティング戦略上欠かすことのできないものである。

関東地区ではビデオリサーチやエム・アール・エス広告調査がTV、ラジ

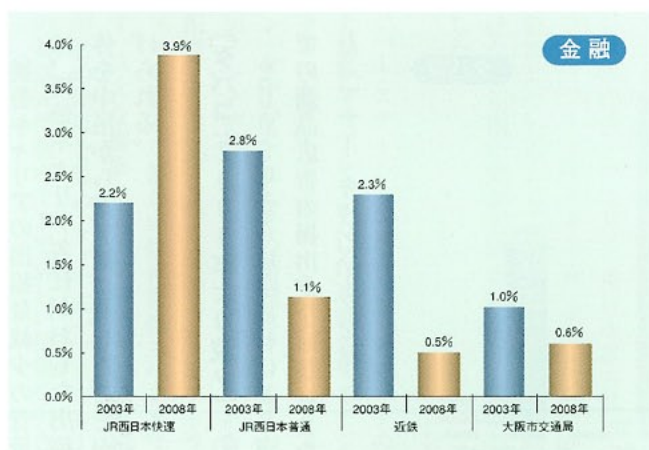
	JR西日本快速		JR西日本普通		近鉄		大阪市交通局	
	2003年	2008年	2003年	2008年	2003年	2008年	2003年	2008年
サービス	1.1%	0.6%	1.1%	1.1%	1.6%	0.2%	1.2%	1.4%
その他	0.4%	1.4%	0.7%	1.2%	1.2%	0.0%	0.2%	0.1%
ホテル・会館	0.3%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	2.0%	0.4%	0.0%
医薬・衛生品	2.0%	0.8%	1.9%	0.9%	0.1%	0.0%	0.2%	1.0%
医療・美容施設	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
飲料・嗜好品―③	1.9%	2.5%	1.7%	3.6%	0.5%	1.3%	1.9%	2.3%
化粧品・洗剤	0.6%	0.6%	0.7%	0.8%	0.0%	0.0%	0.7%	0.9%
外食―④	0.2%	0.4%	0.8%	0.6%	0.3%	0.2%	0.3%	0.4%
学校	3.4%	3.8%	5.0%	5.4%	6.4%	6.8%	5.7%	4.7%
官公庁	3.7%	2.8%	3.3%	3.0%	4.1%	4.1%	4.7%	4.5%
求人―①	0.3%	2.2%	0.6%	2.3%	0.3%	2.0%	0.5%	0.9%
金融―②	2.2%	3.9%	2.8%	1.1%	2.3%	0.5%	1.0%	0.6%
携帯キャリア―⑥	1.8%	0.3%	1.6%	0.3%	3.2%	0.5%	2.0%	0.8%
娯楽・観光	8.7%	11.0%	8.8%	12.0%	11.8%	14.0%	10.1%	10.2%
交通・運輸	35.4%	43.8%	33.5%	44.4%	41.6%	49.0%	3.3%	28.1%
趣味・レジャー用品	0.3%	0.3%	0.1%	0.3%	0.2%	0.0%	1.0%	0.2%
住宅設備機器	1.8%	1.2%	1.9%	1.1%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%
出版―⑤	19.0%	13.1%	21.0%	11.5%	16.2%	11.2%	36.6%	25.0%
食品	0.3%	0.1%	0.3%	0.3%	0.1%	1.7%	0.7%	0.9%
繊維・身の廻り品	0.6%	0.3%	0.4%	0.3%	0.4%	0.0%	1.2%	0.7%
電気機器	3.3%	1.6%	3.1%	1.7%	0.2%	0.0%	5.3%	2.6%
百貨店・小売	7.9%	8.2%	5.4%	6.9%	2.9%	4.8%	18.0%	13.5%
不動産・住宅	1.0%	0.6%	1.3%	0.6%	1.4%	1.1%	1.1%	0.4%
放送	1.2%	0.3%	1.3%	0.4%	0.8%	0.4%	1.0%	0.4%
輸送用機器	0.2%	0.4%	0.1%	0.3%	0.5%	0.0%	0.4%	0.3%
タバコ―⑦	2.6%	0.0%	2.5%	0.0%	4.2%	0.0%	2.3%	0.1%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



【求人：2003年より増加】①

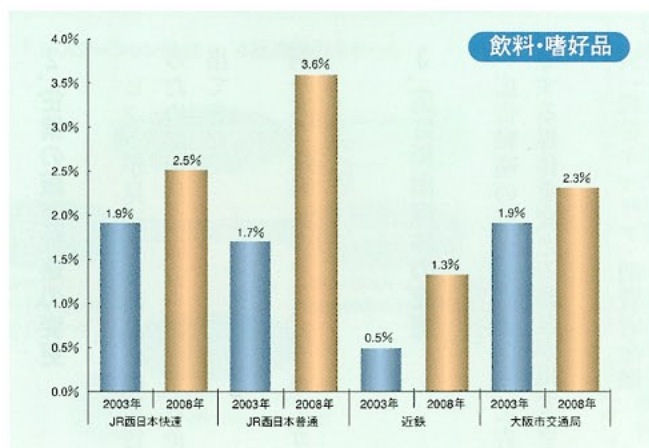
【個別業種ごとの動向】

別表はメディアアートの集計したデータを基に、JR／大阪地下鉄／近鉄の2003年と2008年の業種別出稿比率をまとめたものだ。この表から関西地区の5年間の社会情勢、経済動向の変遷を読み取ることが出来る。



【金融：2003年より減少】②

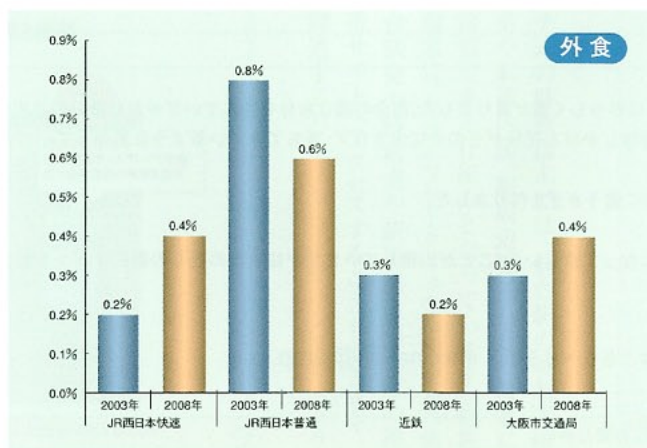
2003年は、90年代後半からの就職氷河期が終わり、雇用の回復が始まった時期にあたる。2008年は、リーマンショックまでは前年までの就職市場の好調さを引き継ぐかたちで推移した。2003年は限られた就職情報誌出版社が大量出稿していたのに対し、2008年は広告主が多様化し、専門的な就職サイトやBtoBのメーカーなどの出稿が見られた。



【飲料・嗜好品：2003年より増加】③

グバン以降、通販型の保険会社が台頭した。2008年は、前年までに大手消費者金融がグレーゾーン金利の撤廃による金利低下を訴求した広告が目立つ。

大手飲料メーカーがヒットを見込める商品に対して広告を集中投下したことにより、嗜好品全体の出稿量押し上げる結果となった。他のメーカーでも、ドア横やまど上など他の媒体を中心に広告展開している。



【外食：2003年より増加】④

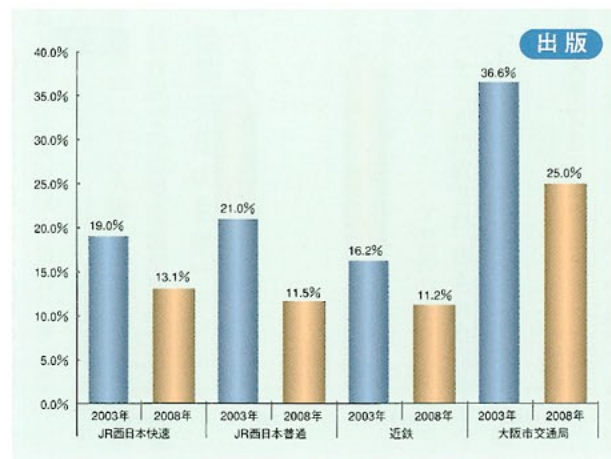
出稿した企業数は2003年を下回ったものの、大手ハンバーガーチェーン店の出稿量増加が減少分をカバーするかたちとなった。デフレ戦略からの脱却の成否が出稿量に影響をあたえたものと推測できる。

【出版：2003年より減少】⑤

女性誌・週刊誌は持ちこたえたが、それ以外の雑誌の減少が顕著だった。とくに、コミック、情報誌、趣味・娯楽誌の落ち込みが大きい。出版の著しい出稿量の落ち込みのなかで、ターゲットを細分化し若い女性の取り込みに成功、出稿量を5年で300%増加させた。



〔携帯キャリア〕
2003年より減少〕⑥

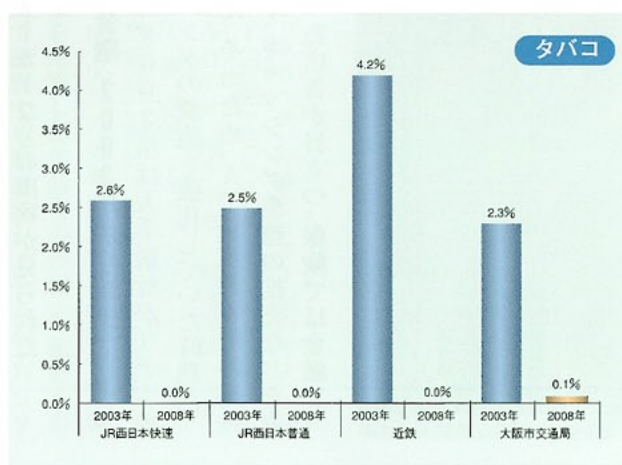


せた出版社もある。

金融ビッグバンや有効求人倍率の増減などの社会的な変化により広告を行な

1. 社会情勢にともなう経営環境の変化

〔まとめ〕出稿量変化の理由



た。(マナー・キャンペーンを除く)

〔タバコ〕2003年より減少〕⑦

携帯キャリアの出稿量減少の背景には、携帯キャリア各社がおもな出稿媒体を中吊からドア横に移したことが挙げられる。

う企業の数や出稿量に変化が生じた。

例：大手都銀・求人サイト

2. 企業の販売戦略の変更

ヒットが見込める商品を広く告知するために中吊に広告を掲出する企業が出てきた。

例：大手飲料メーカー、ハンバーガーチェーン店

3. 広告掲出媒体の変更

広告戦略の見直しによって、広告展開をする媒体を変える動きが出てきた。

例：携帯キャリア、消費者金融

以上のように年次毎に分析することにより、時代の変化を捉え、その傾向をみる事ができる。広告の増減には何らかの理由があり、その背景をさぐることは、短期、長期の出稿計画に有効な手段といえる。出稿統計を活用することにより、広告費からメディアを選択したり、広告規模、期間等を選定することも可能であると付け加えておく。

株式会社メディアアート
交通広告事業本部 企画開発部 部長
高崎 登

編集後記

地球温暖化と言われながらも、冬は冬らしく雪が降りました。都会の雪は水分を含んでいてかなり重いのですが。さて、この時期に雪が降ると、ちょうど飛散しかけた花粉がその中に含まれて、落ちてきているような気がしているのは私だけでしょうか。

せっかくですので、積雪の思い出に雪うさぎを作りました。

そしてもう3月ですね。色々「春になって欲しい！」ことが山積していますが皆さまの近くの春のイベント教えてください。

●メールと写真、ご意見、ご感想はこちらへどうぞ。 information@jarap.jp



●次号Vol.50は4月1日発行予定です。楽しみに。